



道央Aブロックセミナー

西條 明美 (小樽支部)

「アテネ・パルテノンとスウェーデン・デンマークの水辺の建築」

講師：駒木定正氏

(北海道職業能力開発大学校特任教授)

全国大会報告

連合会委員 東 道尾 (札幌支部)



10月30日(金)、第58回全国大会石川大会が金沢市で開催されました。今春に北陸新幹線が開通した影響で、金沢市内は大規模なイベントが目白押しらしく、駅前の鼓門周辺は大変な混雑でした。せっかくの機会なので、今回は東京から北陸新幹線で移動してみました。揺れも少なく静かな車内で、久しぶりに列車の旅を満喫。大会前日には、連合会委員をはじめ、旧委員、開催地の女性委員と懇親会を開き、交流を深めて翌日への英気を養いました。

大会会場は、JR金沢駅と直結しており、もてなしドーム、イベント広場、県立音楽堂、邦楽ホール等の施設を使い、雨に濡れずに移動ができました。

交流セッションは昨年と同様、まちづくり、青年、女性3委員会合同開催となり、テーマは「未来につなぐまちづくり」。午前中の「交流セッションa」は、女性委員会永井香織委員長より、7月に開催された第25回全国女性建築士連絡協議会から、初代委員長の村上美奈子氏の基調講演とパネル

ディスカッションの報告。引き続き午後からは、「交流セッションb」3委員会合同パネルディスカッションを開催。女性委員会からは、小野全子、本間恵美両連合会女性委員会副委員長がパネラーとして登壇しました。



今回の私の役割は、会場受付と福島県女性委員会が発行している冊子販売のため、セッションの様子は会場から漏れ聞こえる音声のみ・・・委員が手分けしてそれぞれの役割を受け持ち、無事に終了することができました。詳しい内容は会誌『建築士』2月号をご覧ください。

大会終了後は、雨に濡れながら茶屋町や武家屋敷跡を散策。念願だった21世紀美術館のプールも見学できました。加賀百万石の歴史ある城下町ですが、新しい建物と歴史的建造物が自然を介して融合している街並みが心地よく、リフレッシュして帰ってきました。



◆アテネ・パルテノン

パルテノン神殿の、彫刻の装飾部分はイギリス (British Museum) にあり、とても残念に思いますが、現在神殿は復旧工事中と聞き、安心しました。ギリシャの政治・経済が1日も早く安定して、昔の神殿の姿を見せてもらいたいと願っています。

◆スウェーデン・マルメの港

小樽と同じぐらいの規模の町、あえて使われていなかった港周辺に庭と運河付き低層住宅や近代的な集合住宅の地域を形成し、港の反対側には海水浴場や緑地帯を設け魅力的な町並みが創られています。住宅街の道路はT字路を作り車の速度を下げることで、歩行者の安全を守る配慮がされていることを聞き、感心させられました。

◆デンマーク・コペンハーゲン

目にするものの無い変わった建物、それぞれが主張しているようで、調和して見えるのは洗練されたデザインのおかげのようです。スライドの中で、駒木先生が飛行機の上空より撮影された、「アテネ」と「マルメ」の町の写真は、どんな地図よりもリアルで、私も実際に目にしたいと強く感じました。

